

第5-14表 規模間賃金格差（産業計）

Table 5-14: Wage gap by establishment size in all industries

		(1,000人以上=100)(1,000 empl. or more=100)					
国/Country		企業規模(人)/establishment size (employees)					
		計(5～)	5～29	30～99	100～499	500～999	1,000～
日本	JPN	65.5	53.2	63.6	76.9	87.2	100.0
(製造業/manufacturing)		(69.9)	(51.2)	(58.2)	(75.3)	(88.1)	(100.0)
		1～9	10～49	50～249	250～499	500～999	1,000～
アメリカ	USA	56.6	70.4	76.2	80.0	84.7	100.0
(製造業/manufacturing)		(55.3)	(64.5)	(69.7)	(74.7)	(80.2)	(100.0)
イギリス	GBR	84.3	93.0	102.0	104.8	109.0	100.0
ドイツ	DEU	64.2	68.8	75.9	82.8	91.1	100.0
フランス	FRA	—	85.2	89.4	96.8	98.4	100.0
イタリア	ITA	—	72.5	83.3	89.5	96.7	100.0
スウェーデン	SWE	—	100.6	102.8	106.7	104.7	100.0

資料出所 日本:厚生労働省(2010.2)「平成21年12月毎月勤労統計調査月報」

アメリカ:U.S. Census Bureau(2010) *2007 Economic Census*その他:EU(2009.7) *Structure of Earnings Statistics 2006*

- (注) 1) 規模区分は日本とアメリカは事業所規模で、EUは企業規模。
 2) 日本は常用労働者の現金給与総額(total cash earnings), EU各国は月間平均賃金総額(mean monthly earnings), アメリカは年間給与総額(annual payroll)を雇用者数で除したものからそれぞれ指数を作成。
 3) 日本の産業計は、調査産業計(非農林漁業)。アメリカの産業計の値は、入手可能な産業(鉱業、原油・ガス・天然資源、建設業、製造業)の数値を集計して作成。
 4) 日本は2009年, アメリカは2007年, その他は2006年の数値。

第5-15表 所得のジニ係数

Table 5-15: Gini coefficients of income inequality

国		1990年代半ば	2000年	2000年代半ば
Country		Mid-1990s	2000	Mid-2000s
日本	JPN	0.3235	0.3367	0.3205
アメリカ	USA	0.3614	0.3567	0.3814
イギリス	GBR	0.3540	0.3700	0.3350
ドイツ	DEU	0.2722	0.2698	0.2981
フランス	FRA	0.2700	0.2700	0.2700
イタリア	ITA	0.3479	0.3432	0.3519
スウェーデン	SWE	0.2113	0.2426	0.2341
オーストラリア	AUS	0.3091	0.3172	0.3011

資料出所 OECD(2008.10) *Growing Unequal? Income Distribution and Poverty in OECD Countries*

(参考)

	2000	2004	2005	2006	2007	2008年/Year
日本	JPN	0.3997	0.3999	0.3948	0.3981	0.3949
						0.4041

資料出所 厚生労働省(2010.5)「平成21年国民生活基礎調査」

- (注) ジニ係数とは、所得分配の不平等度を表す指標である。ジニ係数が0に近づけば平等に近づき、1に近づけば不平等の度合が増す。